

# 酒田市男女共同参画推進センター

# ウィズ・レター

# No.116



目次 ▼ウィズ図書新刊の紹介 ▼ウィズ講座「こどもを守るための性教育」実施報告  
 ▼シアターセッションinサカタ実施報告 ▼酒田市・パナソニック株式会社連携協定締結  
 ▼国際女性デー啓発活動報告

ウィズにぜひ借りにきてください！

## ウィズ図書新刊のご紹介



**トランスジェンダーQ&A 素朴な疑問が浮かんだら**  
 著者：高井ゆと里、周司あきら  
 トランスジェンダーを取り巻く21の大きな問いと、65の疑問に答えQ&A集。基礎知識から、トイレや浴場等の「性別分けスペース」をめぐる疑問、SNSで激化する差別やヘイトまで、語りかけるような文体で丁寧に解説します。議論の前に知っておきたい、当事者の「生きる現実」が詰まった一冊です。



**差別はたいてい悪意のない人がする**  
 著者：キム・ジヘ  
 自分は差別とは無関係だと思っていませんか？本書は、「無意識の差別」を鋭く指摘するとともに、冗談や排除の心理に潜む構造を解き明かすことで、なぜ「悪意のない人」が差別を再生産するのかを問い直します。誰もが平等に生きられる社会に向け、自分の立ち位置を再確認する一冊です。



**恋せぬふたり**  
 著者：吉田恵里香  
 恋愛を前提とした社会に生きづらさを感じる咲子。他者に恋愛感情を抱かず、性的にも惹かれたい「アロマンティック・アセクシュアル」の羽と出会い、二人は「家族（仮）」として同居を始めます。周囲の理解や壁に直面しながらも、恋人でも夫婦でもない、自分たちらしい幸せの形を模索する物語です。



**家事は大変って気づきましたか？**  
 著者：阿古真理  
 なぜ家事は楽にならないのか。明治から令和までの歴史を紐解き、女性を縛る「愛情神話」や性別役割分担の正体を豊富な資料で解き明かす一冊。家事代行や時短料理、名もなき家事へのモヤモヤを整理し、資本主義やケアの視点から、共働き時代の新たなパートナーシップの在り方を提言します。



**主婦である私がマルクスの『資本論』を読んだら**  
 著者：チョン・アウン  
 「夫が妻を扶養しているのではなく、妻が夫を支えているのだ」。『資本論』を筆頭に古今東西の理論を援用し、家事という「見えない労働」の正体を読み解く教養エッセイ。主婦の孤独や違和感の根源を、経済や歴史の視点から言語化します。すべての人が自律して生きるための道筋を明るく照らす一冊です。



**僕が家庭科教師になったわけ つまるところの「生きる力」**  
 著者：小林陽一  
 44歳で化学教師から家庭科教師へ転身した著者の奮戦記。自身の家事育児での悪戦苦闘を経て「男も暮らしの技術を持つべき」と痛感し、女子大で学び直した軌跡を綴ります。ジェンターの壁を越え、調理や裁縫を通して「生きる知恵」を伝える授業の実践から、自立と共生の形を問い直す一冊です。



**介護未満の父に起きたこと**  
 著者：ジェーン・スー  
 82歳で突然独居となった父。健康だが家事ができない父に対し、娘はビジネスライクな支援を試みます。しかし、ベトボトルが開かない、記憶が薄れるといった「老人以上、介護未満」の現実に直面。手探りで奔走した5年間の記録は、誰もが迎える老いへの心構えと、家族の距離感を教えてくれます。



**自由を手にした女たちの生き方図鑑 振り回される人生を手放した21人のストーリー**  
 編集：Rashisa出版  
 誰にも振り回されず、自分の意志で人生を選択する「本当の自由」とは。周囲の目や常識に縛られ、もがき苦しんでいた21人の女性たちが、勇気を出して一歩踏み出し、自らの手で自由を掴むまでの軌跡を赤裸々に綴ります。生き方や働き方に迷う背中を押し、ワクワクする未来を提示してくれる一冊です。



**デュアルキャリア・カップル 仕事と人生の3つの転換期を対話で乗り越える**  
 著者：ジェニファー・ペトリリエリ  
 仕事も人生も諦めない二人へ。世界113組の調査から、キャリア志向のカップルが直面する「3つの転換期」を提示。育児、転職、中年の危機、退職後の自己定義まで、各段階で陥る罠と乗り越え方を解き明かします。価値観や限界を共有し、対話を通して最高のパートナーへと成長するためのロードマップ。



**自分で自分を不幸にしない 「性的虐待」を受けた女性の語りから**  
 著者：井上寿美、笹倉千佳弘  
 継父からの性的虐待、母への暴力、施設生活。過酷な過去を背負った女性「ユウ」が、周囲の温かな関心に支えられ、自らの物語を語り直していく軌跡です。結婚や出産、育児という日常の中で、加害や被害の連鎖を断ち切り、一歩ずつ「自分を大事にする生き方」を確立していく姿を描いた再生の記録。



**おうち性教育ははじめます 一番やさしい！防犯・SEX・命の伝え方**  
 著者：著者：フクチマミ、村瀬幸浩  
 性教育は、子どもを被害者にも加害者にもしないための「命の教育」です。3歳から10歳を対象に、防犯や体の仕組み、命の伝え方をマンガで易しく解説。日々の何気ない会話を通して、正しい知識と自己肯定感を育むコツが満載です。親世代が学んでこなかった「自分と人を守る力」を親子で育む一冊。



**おうち性教育ははじめます 思春期と家族編**  
 著者：著者：フクチマミ、村瀬幸浩  
 10歳から成人まで、心身が激変する思春期の子どもを守るための性教育。反抗期で難しくなる親子関係や距離感の取り方をマンガで易しく解説します。デートDVや性犯罪から身を守る知識を伝え、将来離れて暮らしても自立して生き抜く力を育む一冊。親が子の「絶対的な味方」であるための必読書です。

ウィズ講座

# こどもを守るための性教育

～幼少期からできること～

を開催しました



日時：R7.11.29（土）  
 会場：交流ひろば 2階 交流室  
 講師：助産師・性教育講師 熊坂 はつみ さん

近年、SNSやインターネットを通じて、子どもたちは多くの性に関する情報に触れる環境にあります。その一方で、年齢に応じた正しい知識や価値観を、大人から丁寧に伝えられる機会は十分とは言えません。そこで、今年度4回目のウィズ講座では、講師に助産師で性教育講師の熊坂はつみさんをお迎えし、幼少期からの性教育の重要性を正しく理解し、家庭で実践する方法を学びました。「性教育は日常生活の延長線上にある」という視点のもと、子どもの発達に応じた年齢別の関わり方について具体的な解説が行われました。

講義では、プライベートゾーンの教え方や、自分の意思を伝えるための「No」と言える力を育む大切さが語られました。特に、子どもからの質問を否定せず受け止める姿勢が、信頼関係の構築や、性暴力・性被害の予防に直結することが強調されました。また、子どもから尋ねられるよくある質問を例に挙げながら、「どのように受け止め、どう答えるか」を考える場面もあり、参加者同士で気づきを共有する時間が設けられました。「子どもの質問は信頼の証し」というメッセージは、多くの参加者の心に残り、性について話すことへの不安や戸惑いを和らげるきっかけとなったようです。

参加者からは、「性教育は家庭にあると実感した」「親として何を大切にすればよいか整理できた」「保育や教育の現場でも生かしたい」といった声が多数寄せられました。大人が正しい知識を持ち、子どもの疑問に真摯に向き合うことは、子どもの心身を守り健全な成長を支える基盤となります。自分と他者を大切にする意識を育む性教育の重要性を共有する、とても有意義な学びの場となりました。

▶ おすすすめの本を紹介する熊坂さん



## ★ アンケートより

- “性”をきっかけに、“あなたの体も心も大切だよ”を、子どもに伝えていくことで、目には見えない“生きる力”が大幅にUPするのでは…と気づけた大切な時間になりました。子どもに“性”をどうやって伝えればいいか悩んでいましたが、親がどうやって伝えるか工夫したり、子どもに大切さを伝える大きなチャンスだなと思いました。これは、親にしかできないことだと感じ、今後は、“性”という角度から“大切さを感じる”“Noを受けとめてもらえる Noを受けとめられる”子どもを育てていきたいと思いました。
- 私自身、性教育をちゃんと受けてこなかったこともあり、自分の子どもへどのように伝えたらよいか不安に思っていました。親が恥ずかしがらずに事実を伝えるのが大事だなと思いました。子どもの質問にも、しっかり受けとめたいと思います。男性からもぜひ受けとめたい講座でした。
- モヤモヤが少し楽になりました。子どもの「なんで」を受け止めて、わかる範囲で答えたり、一緒に学びたいと思いました。



◀ 各グループの質問に丁寧に答えながら参加者をお答えいただきました



# シアターセッションinサカタ

～高校生と脚本家がジェンダーと多様性を考えてみる～

を開催しました

日時：R8.1.12（祝・月）

会場：希望ホール 大ホール

出演者：庄内地区高等学校演劇協議会（酒田東高校・酒田西高校・鶴岡中央高校演劇部）、  
脚本家・小説家/吉田 恵里香 さん、脚本家・演出家/館 そらみ さん

司会：活動写真弁士/佐々木 亜希子 さん

トランスジェンダー監修：虹をかける会 渡部 香織 さん、砂川 泰未 さん



## 即興劇

出演：庄内地区高等学校演劇協議会  
演出：脚本家・演出家 館そらみ氏  
トランスジェンダー監修：  
渡部香織氏・砂川泰未氏（虹をかける会）



公演の2日前に、高校生と館さん、「虹をかける会」のお二人によるトークセッションを実施。そこで学んだ当事者の方々のエピソードや新たな気づきをもとに、オリジナルの「即興劇」を作成しました。難しいテーマかつ短い練習時間にもかかわらず、高校生たちは見事に演じ切り、会場は大きな拍手に包まれました。

## トークイベント

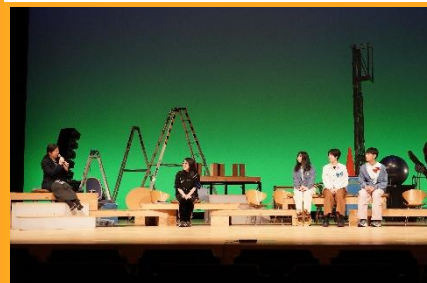
テーマ：明日はもっと自分らしく  
～エンタメから考える  
“当たり前”のアップデート～  
出演：脚本家・小説家 吉田恵里香氏  
司会：活動写真弁士 佐々木亜希子氏



連続テレビ小説『虎に翼』の脚本制作にまつわるエピソードをはじめ、作品に込めた現代社会への想いや大切にしたい価値観など、様々なテーマでお話を伺いました。また、未来へ進む若者をはじめとするすべての人へ向けた熱いメッセージも贈られ、その言葉一つひとつに来場者が真剣に耳を傾ける様子が非常に印象的でした。

## アフタートーク

出演：演劇部の高校生×吉田恵里香氏  
×館そらみ氏×渡部香織氏・砂川泰未氏  
（虹をかける会）  
司会：活動写真弁士 佐々木亜希子氏



アフタートークには、出演者・関係者が登壇。高校生からは即興劇の感想を、演出を手掛けた館さんからは、高校生たちへのエールや吉田さんのトークを受けての感想が語られました。また、脚本家の吉田さんからは、高校生たちの即興劇への称賛が送られ、「虹をかける会」のお二人からは、トランスジェンダー監修の視点や、劇を通じて届けたい切実な思いなどが共有されました。



◀ ホワイエでは、ウイズやウイズの登録団体による展示が行われました

## アンケートより

- 演劇やトークを通して、「当たり前」に対する意識や行動が変わるきっかけになりました。あまり構えずに社会問題に触れられ、さまざまな世代に届きやすいイベントだなと感じました。
- 吉田さんの「自分自身の人生の選択権は自分にある」という言葉、すべてに通じる大切なことだと思う。
- 高校生達、本当に良かったです。こうしたイベントが開催されることは、この地域の希望と思いました。

## 家事シェアを応援！酒田市とパナソニックが連携協定を締結



協定締結式の様子

本市は、令和8年2月13日、パナソニック株式会社と「食器洗い乾燥機の実証実験を通じた男女共同参画の推進に関する連携協定」を締結しました。

本協定は、食洗機の活用による家事負担の軽減や、家族での「家事シェア」促進が、暮らしのゆとりやストレス緩和にどのような効果をもたらすかを検証し、市の新たな施策検討に活かすことを目的としています。

これに伴い、令和8年度に「家事シェアチェック宣言事業」とタイアップした実証実験を実施します。「家事シェアチェック宣言」の参加特典（抽選）として、希望する30世帯を対象に、同社製の食洗機を3か月間無償で貸し出しをするものです。募集時期などの詳細は、後日、市広報やホームページ等でご案内します。

誰もが自分らしく活躍できる社会を目指して

3月8日

## 国際女性デー啓発展示を実施しました

International Women's Day



国際女性デー。それは、すべての女性が自分らしく輝ける社会を願う日です。国連女性機関（UN Women）が掲げる2026年のテーマは「権利、正義、行動。すべての女性と少女のために」。

私たちの暮らしの中には、まだ気づかれにくい不平等や無意識の偏見が残っています。身の回りの小さな違和感に目を向け、互いを尊重する思いやりの気持ちを広げていくこと。それこそが、より良い社会への確かな一歩になります。本市では、国際女性デーに合わせ、下記の取り組みを実施しました。



ミライ二光の湊ロビーでの啓発展示



市役所正面玄関でのイエローフラワーの展示



日和山公園六角灯台イエローライトアップ

### 令和8年度酒田市内家事代行サービス等提供事業所一覧

を市HPで公開しています

詳しくはこちらをご覧ください  
→→→



酒田市市民部共生社会課 男女共同参画・多文化共生係  
男女共同参画推進センター ウィズ

開館 月～土：9:00～21:00  
日・祝：9:00～17:00  
相談 月～金：9:00～16:00（祝日除く）

〒998-0044 酒田市中町三丁目4-5  
交流ひろば内

Tel：0234（26）5616  
Fax：0234（26）5617  
E-mail：kyousei-with@city.sakata.lg.jp



▲ウィズHP

